

飼い主の責任

二年 杉山果琳

「ドンちゃん、シナモンおやつだよ！」と姉が言いました。でも、なぜかどんなおやつでも必ず猛スピードで来るドンちゃんがおやつに見向きもしませんでした。

ドンちゃんとシナモンは、チンチラというねずみとうさぎのハーフのような小動物です。チンチラは珍しく情報が乏しい動物です。だから診察してもらえぬ獣医さんが限られています。飼い主が体調の変化を、便や食欲など沢山のところから感じとることが大切だと学びました。だから私は、ドンちゃんの体調の変化に気づくことができました。

もう動物病院がやっている時間ではなかったので、きつと何か変なものを食べたのだと思い家のあちこちを探しました。すると、ドンちゃんやシナモンが入ってはいけぬ扉が開いているのに気がつきました。そこには人間の抗生物質の玉薬が半分になって落ちていました。「えっ、うそでしょ」私は頭が真っ白になりました。

次の日、私は母とドンちゃんを動物病院につれていきました。診察してもらい獣医さんは言いました。「この薬はチンチラが食べてしまうと死に至ります。あとはドンちゃんの生命力次第です」と言われました。私は私を責め続けました。でもずっと悲しんでいられないと思いました。

私は次の日から一日三回、野菜ジュースと腸を動かす薬をまぜたものをあたえました。シナモンもずっとドンちゃんの側にいました。シナモンのためにも絶対元気になつてもらいたくて看病を精一杯しました。そして一ヶ月間毎日、点滴に通いました。

一週間後、やっと腸が動きはじめうんちができました。私は少し安心しました。そこから二ヶ月間毎日病院に通い、無事完治しました。先生に「よくがんばったね」と言われドンちゃんが元気になったことを実感し、とても安心しました。シナモンもドンちゃんが大好きだから、完治して本当によかったです。

でも、このような事が起こってしまったのは全て飼い主である私たちの責任です。元気なドンちゃんに苦しい思いをさせてしまいました。もう少し身の周りの事を気づかえばよかったと強く後悔しました。

これから、ドンちゃんやシナモンにもこのような思いを絶対にさせません。そのため私は可愛いとみているだけではないかなと思います。今回感じた、観察の大切さや小さな事への気づかいを大事にしていきたいです。人間の一つの見おとしが動物の命に関わるということについて、しっかりと考えていきたいです。また、日々の動物に関する勉強もがんばります。